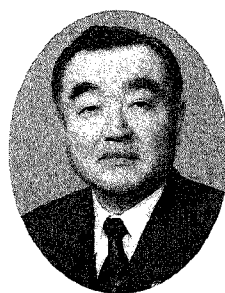
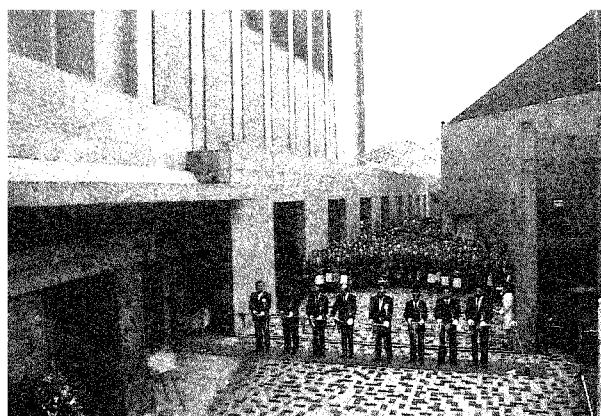


化を奏でる ホールオープン!

11.3



都留市長
都 倉 昭 二



都留市文化ホール館長
近 藤 幹 雄

二十一世紀を拓く都留市の新しい文化の殿堂として、市民待望久しい都留市文化ホール「うぐいすホール」が関係各位のご協力により、このたび開館の運びとなりました。

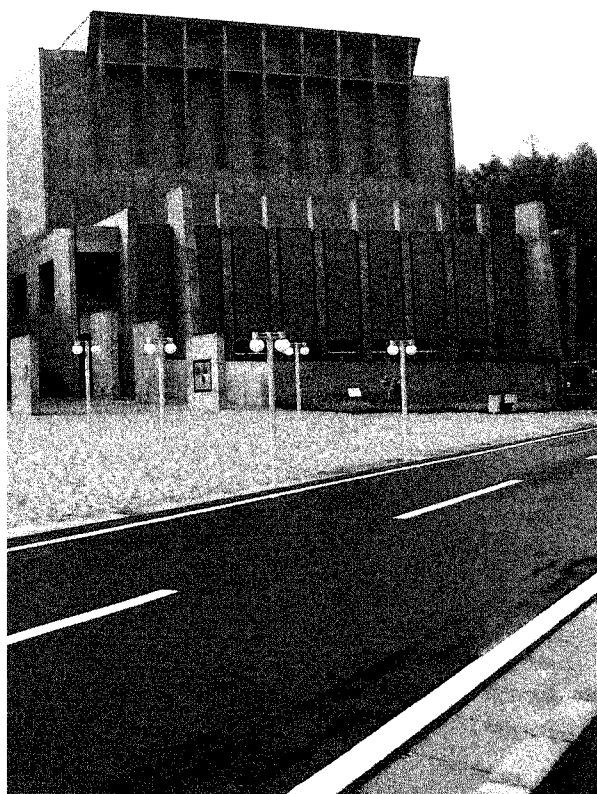
このホールは、国内トップレベルの音響設備を施した芸術鑑賞ホールであり、さまざまな芸術・文化活動の発信基地として、市民や学生が参加する地域文化創造の場として利用できる、活気あふれた多機能ホールであります。

市内外の多くの皆さんにご利用いただけるものと期待しています。

市民待望のうぐいすホールの開館をようやく迎えることができ、関係者の一人として大変うれしく思います。これまで建設に携わって来られた多くの方々のご労苦に対し改めて深く感謝申し上げます。

立派に完成したうぐいすホールの初代館長として身の引き締まる思いですが精一杯努めて参りたいと存じます。

今後、市民と学生が一体となった地域文化の創造・育成事業に重点的に取り組んで行きたいと考えています。



郡内の文化を発信するホール

平成六年七月から建設に着手した市民念願の文化ホールが、十一月三日開館しました。

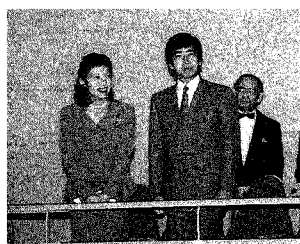
豊かな自然を背景に、芸術・文化の拠点としてのホール。市民の皆さんがこのホールに足を運び、文化の街としてさらに息づいた都留市となる第一歩をふみだしました。

施設は、大ホール（八二八席）、小ホール（三〇〇席）に野外ステージ、リハーサル室、会議室などを備え、郡内の中核文化施設として期待できるものです。

建物の延べ床面積は六千六十平方メートルで、郡内最大級の施設となり、コンサート等の催し物を市外で見られなかった人も地元でゆつくりと鑑賞できます。



記念式典の後、故加倉井和夫画伯の作品を原画に製作された緞帳を披露



高円宮様ご夫妻

大ホールの緞帳は、故加倉井和夫画伯の作品「苑」を原画に製作されました。緞帳披露には、画伯とご親交の深かった高円宮様ご夫妻と、鷹司様にご臨席を賜りました。